

1994 (H6)

聖 朋



学校のシンボル「けやき」樹齢280年

聖 朋 会 報

創立10周年記念特集号 **第3号**

聖徳大学附属聖徳高等学校・聖朋会

ごあいさつ



学園長 川並弘昭

川並弘昭

昭和五十八年(一九八三)四月、藤代町の広々とした水田地帯に、聖徳学園短期大学附属聖徳高等学校が創設されてから十年の歳月が過ぎ、翌年開校の中学校は十年目を迎えました。お蔭で学校は隆昌の一途をたどり、高校は第九回卒業生までの総数三三四五名に達し、中学は第八回卒業生まで合せ二〇一名を数えるに至りました。これも和の精神を基本とした本校の特色である女子教育が、地域の方々のご理解とご賛同をいただいた結果であり、また、聖朋会会員の皆様のご協力のお蔭であると思えます。ここにあらためて感謝申し上げます。

開校当初の頃に本校に学ばれた皆様は、数々の不便や苦労にも負けず、「聖徳学園ここにあり」「おたくしちが聖徳中・高を築くのだ」という意気込みで努力を重ね、自分自身を磨かれた体験は、多分今日の皆様の生活に活かされていることと信じています。先輩たちが苦労して作った細い道を、次々と後輩が歩き固めて、創立以来十年にして現在のような広く大きな道に作り上げたという感じがしています。

学園全体については、短大の他に平成二年四月に聖徳大学が開学し、今春はその第一期生が社会に巣立って行きました。

終りになりましたが、聖朋会の皆様にはいつまでも母校を忘れずに、折がありましたら、懐かしい藤代の校舎に足を運んで後輩を励ましてください。

母校の創立十周年の記念すべき年に当り、聖朋会役員が協議の上平成元年秋の創刊号に続いて、聖朋会報と会員名簿を発行することにつき、誠に時宜にかなうた企画でありました。役員の皆様のご尽力に御礼を申し上げます。

聖朋会会員の皆さん、お元気で過ぎのこととお喜び申し上げます。歳月の流れるのは早いもので、母校も創立から十一年の月日が過ぎました。皆さんの中にはすでに結婚して母親になっている方もありましょう。子を持つて知る親の「恩」という味もありませんが、子育ての苦労はいかがですか。また、自分の選んだ道で活躍されている人も多くいらっしゃると思います。

十周年を迎えるにあたって

聖朋会会長 大野寿美余



大野 寿美余

聖朋会会員の皆様、こんにちは。皆様、ますますご活躍の事と思えます。私達一周年が入学して、聖

徳高校も十一年目を迎えました。十周年記念を目前にし、入学した時を思い出します。田ん



思い出すままに

ぼのまん中に、大きく新しい校舎。どこからでも見える大きい時計。農作業で働く農家の人達にも、「見やす」と好評がよかったです。先生からお話を聞いた事があります。私も自転車通学だったので、腕時計をしていて、あの大い時計の時刻を見て、「ホッ」とする事があったのを覚えています。体育館、校舎の一部、校庭等、また工事中の所が着く、作業服を着た人達、制服をきた私達や、校舎を歩いていたのです。食堂や玄関を飾る利根山光人先生の壁画や、世界時計も、まだ出来上がっていません。靴を取替えるたび、どのような壁画が見られるのか、どんな

世界時計が作られるのか、楽しみでなりません。皆様はどのような思い出がありますか？ なにもかもが新しい中、一年目が終わり、一学期の約半分の人数の二期生が入学し、中学校も開校校内がにぎやかになってきました。温水プールも出来上がり、プール開きには、ロスオリンピック・シントク代表選手の方々が、模範演技を披露して下さい、なんてすばらしい学校なんだろー」と感心していました。温水プールなのに、夏しか入れなかった事がザンネンに思います。高校二年が揃い、春、夏、秋、冬と、多くの行事があり、やっと学園生活が楽し

名譽校長 蓮沼節哉

くなってきたのに、一期生は卒業。創立十周年を迎え、今年で三四人の卒業生がいます。たくさん思い出を抱いて高校を卒業し、就職、短大、大学へ進み、女性としてあこがれの結婚。今は母親になり、独立して生活していらっしゃる方も多し事と思います。それぞれ道を歩いていても、なつかしく思い出す、聖徳高校という共通の場所が有りません。共に歩んできた母校を大切に思い、今後ますますの発展を、心からお祈り致しますと共に、聖朋会会員の皆様方には、今後共力強いご協力をよろしくお願い致します。

聖朋会会員の皆さん、お元気で過ぎのこととお喜び申し上げます。歳月の流れるのは早いもので、母校も創立から十一年の月日が過ぎました。皆さんの中にはすでに結婚して母親になっている方もありましょう。子を持つて知る親の「恩」という味もありませんが、子育ての苦労はいかがですか。また、自分の選んだ道で活躍されている人も多くいらっしゃると思います。

私今年も七十一歳になります。竜ヶ崎一高の校長で定年退職した年に、本校の創設が始まり、二線があって高校副設備委員長として、聖昭和五十八年に開校を迎えました。從つて、私の思い出も尽きないものがあります。バスの開設についての苦労、生徒募集のた

め小中学校を、一日に五、六校も訪問し疲れ果てたこと。本校の制服の色調やデザインが清新で目立っていたので、他の高校生がらいやがらせをされたことなど。オパールに着用でもめたことなど。次々と思いつきます。その中でも一番の悩みは最初の三年間は、入学者が少なかったことでした。しかし、皆さんがよき校風・伝統を築いてくれたお蔭もあって、十年にして今日のような発展を見ました。私にとつては、この上ない喜びでありました。どうか、皆さんは母校が一層発展するよう、これかからいましてだけ応援してください。

○苗青き田の面を渡るそよ風に 髪なぶられしかの日暮るな 心に宿せ聖徳の園

本校創立十周年を迎えて



学校長
篠原 寛

平成五年度、本学園はめでたく創立六十周年を迎えました。そして川並理事長・学園長先生は、本学園の発展と私学教育に「尽力されたご功績により、藍綬褒章を受章されて誠にめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。また、この三月、聖徳大学の第一回生もめでたく巣立っていきま

つた。この節目のある大事な年を引継いで、本校では高校、中学の開校にあわせて、本年十月二十二日に創立十周年のお祝いを実施する予定であります。今までの本学園の発展を継承出来ますように、着実な努力を重ねて、栄ある日を迎えたいと思っております。川並理事長先生のご配慮により、すでに衣類の大げやきの回復作業をはじめとして環境整備作業が進められており深く感謝しております。

本校の卒業生も増加して、私は最近、素敵な女性として成長された卒業生から出勤時など進んで挨拶をいただいで、やや戸惑いを感じるのと同時に心から嬉しく思っております。

十周年を迎える母校にも時々たずねてきてください。母校とは、卒業生が深い絆で結ばれた精神共同体であると思います。

どうぞ母校出身者であるということに心から自信と矜持を持って、社会で立派な女性に成長して下さいます。卒業生の皆さんに対しても、私達は母校の教育内容を一層充実していく責任があります。

在校生の学力の向上を図るとともに、本学園独自の礼節と儀と情操の教育が重要であると常に思っております。

平成五年度も、聖徳大学、聖徳大学短期大学部を中心として、多くの卒業生が上級の学校へ進学してまいりました。卒業生の皆さんからも、まわりの方々に本校の特色ある独自の教育を薦めていただきたいと思っております。

終りに本校の十周年に聖朋会としてご協力を下さることをお願いいたします。私のご挨拶とさせていただきます。

みんなで祝おう！ 10周年

今年で母校も10周年!! 聖朋会の会員も3,345名となり、本誌も第3号を発行することができました。また、今年は創立10周年記念として、同窓会名簿も作成中です。名簿作成につきまして、会員の皆様のご協力により、内容も充実したものが出来上りつつあります。

今回の名簿には、懐かしい写真が数枚掲載されます。聖徳中・高校に入学して初めての校外学習で訪れる富士箱根ランドや毎年訪れているのに行かたびにいろいろな思い出を作ることができた望月さすがが荘での校外学習、そして体育祭、聖徳祭など高校時代をちょっぴり振り返ることができそうな名簿ですので是非、ご期待ください。

なお、創立10周年記念式典は、本年の10月22日(出)です。出席に関しては、後日、招待状が送られますのでよろしくお願いたします。



音楽科よりお知らせ

下記のように夏期音楽講習会を藤代の地で開きます。受験希望の有無を問わず、小学4年生から中学3年生までの女子が受講できますので、是非PRをお願いいたします。

- ◆ 期 間 平成6年7月26日(火)～29日(金)
- ◆ 申込期間 平成6年6月6日(月)～7月18日(月) (原則として)

なつかしい先生からのお便り



おいしく炊けるかしら (望月校外学習)



所 感

手折つる花はもろ手にあまれども
いづれを野へにすて、かへらむ

この歌は、私の尊敬する竹崎順子先生の歌です。先生がある日、生徒と共に野山へ花を摘みに行かれたおり、両手に分えきれないほどの花を摘まれ、どれかを捨てて帰りたいと、どれもこれも美しく一本たりとも捨てることはできなかったという思いを詠まれたものです。

吉村 正 一

(元書道科教諭)

私が教職に就いてはや十年に立ちます。その最も血気盛んな六年間を聖徳で送らせていただきました。ただこの迷惑をおかけしただけで故郷の熊本へ帰ってまいりましたが、今でも懐しい便りが後を絶ちません。しかも、あまり接した覚えのない生徒からの便りにはたど驚くばかりです。ああ、あの時もつこうしてやればよかったなあ……と思うたびに、順子先生の歌



聖徳学園の思い出

(元社会科教諭)

金井 敏江

(旧姓・高野)

聖徳中学校・高等学校創立十周年おめでとうございます。
私が聖徳中・高校に初めて勤務しましたのは、高校が開校一年目のことでした。長男の出産を機に六年間通った学園を退職しましたが、その長男も今年から幼稚園です。つくづく歳月の流れの速さを感じています。
開校間もない頃の学園は、生徒数も現在よりはつと少なく、教職員の数も同様でした。行事の度に、生徒職員総動員で準備にあたり

ったものです。その中で、友人又は師弟間の心の交流等々、現在のように大所帯に成長した学園では味わえない経験が、当時学生であった卒業生の皆さんには心に深く残っていることと思います。私自身も水田の色で季節を肌で感じることのできる恵まれた自然の中で伸び伸びと生活する学生と一緒に過ごせたことは大変幸せだと思っています。
最後になりましたが学園の増々の発展をお祈りして筆をおきたいと思えます。



がよぎります。これからも、様々な人々と出会うことと思いますが一人たりともおろそかにせず生きていきたいと思う今日この頃です。



クラスが一つにまとまった和! (ダンス発表会)



いつでもお嫁に行けるね (調理実習)

卒業生から ひと言

聖朋会副会長

天田 由紀子

(二期生)

正直言って、もう十年がたったのかと信じられない程あつという間の月日です。それだけに今でも鮮明に思い出す事があります。皆さんもご存知の通り我が母校は、のどかな田園風景にそびえ立っています。その姿をささぐる建物は何りになにも一つなく、遠くから校舎を見ても、まるで目の前にあるかのように思えます。また、スクールバスがない頃、山王郵便局から歩いて学校に向つていました。夏の暑い日、時折吹いてくる風に「ちようちん袖」をなびかせながらたどいた歩道を続けました。途中で気分が悪くなり立ち止まって休んでいると、田んぼに居たおばあさんが「大丈夫かい？」と優しく声をかけて下さいました。その時はど学校が遠く感じた事はありません。それだけに、スクールバスができた時は、とても嬉しかったです。

一期生にしか味わえなかつた思い出を、これからも誇りに思い、そして、大切にしていきたいと思っています。

修学旅行



高田 ゆかり

(二期生)

この度は、十周年記念おめでとうございます。

私は、第一期卒業生の高田ゆかりです。

あれから十年近くが過ぎたので、時の流れというものは早いものですね。

例えば九年前の入学式の朝、新品で真青な制服を着てえんじ色のリボンをして校門をくぐった時のあのうれしかった時のことは、今でも覚えていてます。

第二期生ということもあり、人数が少なく問題がありました。だからこそ部活動や委員会、その他色々な行事を通して先生活、先輩、他校の人達と交流を深めることができたのではないかと思います。

去年の学園祭にもうすぐ四才になる娘を連れて行った時のことですが「ママがいった学校なの？きれいだねーまーいちゃんも大きくなったらここにくるんだー」と聞いた時は小さな子供が言った言葉ではありますが、とてもうれしかったです。

廊下などを歩いていると、生徒の方が、「こんにちは」といさつをしてくれるのを見ていると、昔の私達を見ているようで不思議な気持ちでした。

校則がとても厳しいと思つていたあの頃のこと、今になって思えば、なんでもないことがどうして素直にできなかったのだろうかと思ひます。



花嫁修業中



この聖徳学園で、他の人に対する思いやりの心と、他の人の為になる奉仕する気持ちの「和の精神」と、礼法で学んだ「まこと」が、この二つが、私の一番学んだことだと思います。

私はいつまでも、聖徳学園の卒業生として、誇りを持っていきます。

私はいつまでも、聖徳学園の卒業生として、誇りを持っていきます。

しかし短大入学の際、不得意教科である英語を克服する目的で英文科を専攻し、最初の授業でその時初めて加納先生は仏様のような人だつたというのを悟りました。

鶴丸 玲子

(五期生)

ふと気が付けば、自分は二十二歳という年齢でした。先日、聖徳高校が開校して十周年というお話を伺い自分の年齢を疑いました。まだ気分は中学生や高校生だつたのですが、意外と十年というものは早いものです。

現在私は、日本空港ビルディング株式会社に入社し、中堅社員として日々充実した生活を送っています。私達の職場は空港という特殊な場所であり、様々な国の人々とその客層に合った外国語を活用して接しています。

そのような私も高校時代は英語が不得意であつた為、日々加納先生の授業に怯えていました。当時の私は、英語「嫌い」という感情形式を持っていたのです。

今、考えてみると不得意教科だつた英語を克服して仕事に活かしている自分を不思議に思います。この二つの英語より、韓国語に興味があり、職場の先輩方と韓国語で会話をすることで楽しんでいる毎日ですが、加納先生に教えて頂いた英語をこれからも活かして頑張りたいと思つています。

部活動近況報告



特活指導部長
湯澤 義文

本校の十年間の記録をたどってみると、各部の急成長ぶりには改めておどろかされます。茨城県内はもちろん、一當勝野徳とまで呼ばれるチームも出て来ました。中でも、

- ・水泳部 十年連続関東大会出場
- ・陸上部 八年連続関東大会出場
- ・二年連続女子総合優勝
- ・新体操部 六年連続インターハイ出場

・バスケット部

・全国選抜優勝大会出場

・スキー部

・二年連続インターハイ出場

・体操競技部

・四年連続関東大会出場

・吹奏楽部

・二年連続関東大会出場、全

国アンサンブルコンテスト

金賞受賞

・金賞受賞

など、県内予選では安定した力を発揮しています。このほかにも昨年度は、空手道部、ハンドボール部、ソフトボール部、東日本大会など八チームが関東大会出場を果たし、とにかくすべての部活動が地区大会を突破し、県大会ベスト4以上を目指して活躍しています。年間を通したすべての部の成績をまとめた学校別総合成績では、二年連続準優勝校となり、今年こそ総合優勝をと、各部ともがんばっております。聖朋会の皆様におかれましては、お忙しいこととは思いますが、後輩の応援にいらしていただければ幸いです。また、今後ともよろしくご支援下さいませようおねがいいたします。

平成5年度の部活動活躍の記録

(大会別)

- 【全国高等学校総合体育大会】出場
 【陸上競技部】・8月【4×100m R】『槍投げ』【400m】
 【新体操部】・8月【女子団体】『女子個人』
 【スキー部】・2月【回転】『大回転』
- 【全国高校バスケットボール選抜優勝大会】出場
 【バスケットボール部】・12月
- 【国民体育大会】出場
 【水泳部】・9月【400m混成R】8人入賞
 【陸上競技部】・10月【100m】
- 【全国陸上競技選手権大会】出場
 【陸上競技部】・10月【4×400m R】【4×100m R】
- 【全国高等学校 体育学科・コーススポーツ大会 出場】
 【柔道部】・8月【女子団体】準優勝
- 【全国高等学校パワーリフティング選手権大会】出場
 (オープン参加)
 ・8月【60kg級】優勝【67.5kg級】優勝
 ・【56kg級】6位【団体】3位
- 【関東高等学校選手権大会】出場
 【空手道部】・6月(前部5年目にして、団体、個人共、初出場)
- 【ハンドボール部】・6月(平成2年度以来、2度目の出場)
- 【体操競技部】・6月(個人は3年連続、団体は初出場)
- 【新体操部】・6月(団体、個人共、5年連続出場、県大会完全優勝)
- 【陸上競技部】・6月(6年連続出場、県大会総合優勝)
- 【水泳部】・7月(100m自由形、戸田芳の大会新記録をはじめ、10年連続、7種目7名出場)
- 【吹奏楽部】・9月(2年連続出場)銀賞受賞
- 【関東陸上競技選手権大会】出場
 【陸上競技部】・8月【4×400m R】3位【4×100m R】3位【三段跳び】その他16種目、22名が出場
- 【全日本アンサンブルコンテスト】出場
 【吹奏楽部】・3月【フルート四重奏】金賞受賞



今年の優勝旗は何色? (体育祭)



平成六年度 年間学事計画

- 4月6日(水) 始業式
 4月8日(金) 入学式
 4月27日(水) 「第61回創立記念日式典」
 6月4日(土) 10周年記念第7回音楽科定期演奏会
 7月9日(土) イギリス語学研修出発
 7月22日(金) 第一学期終業式
 7月23日(土) 夏季休業(～8月31日)
 9月3日(土) 第二学期始業式
 10月2日(日) 第12回体育祭
 10月22日(土) 創立10周年記念式典
 11月2日(水) 第12回聖徳祭(内部公開)
 11月3日(木) 第12回聖徳祭(一般公開)
 12月20日(火) 終業式
 12月26日(月) 冬季休業(～1月7日)
 1月9日(月) 第三学期始業式
 2月17日(金) ダンス発表会
 3月11日(土) 第10回卒業式
 3月20日(月) 終了式
 3月22日(金) 春季休業(～4月5日)

事務室からのお知らせ

卒業生の諸証明書発行について

卒業後、諸証明書が必要になった場合は、

1. 証明書の種類と枚数(例・卒業証明書一通)
2. 卒業した年月と学科・クラス(担任の先生)
3. 氏名(フリガナ)(旧姓で)生年月日
4. 現住所と電話番号
5. 使用目的と提出先

以上を便箋等に記入して送付して下さい。

証明書の代金は卒業証明書200円、成績証明書・調査書300円ですので代金分の切手を同封して下さい。

○郵便での返送を希望する場合は、返信用の切手も同封のこと。

○直接学校に取りに来る場合は、下記の時間内に来校のこと。

月～金 AM9:00～PM4:00

土 AM9:00～PM2:00

(但し、第2・4土曜日は休校)

尚、証明書は発行まで3・4日要しますので、あらかじめご承知おき下さい。

☆宛て先 〒300-15

茨城県北相馬郡藤代町山中田1000

聖徳大学附属聖徳高等学校事務室証明書係

発行
 聖徳大学附属聖徳高等学校・聖朋会
 〒300-15
 茨城県北相馬郡藤代町山中田1000
 TEL. 0297-83-8111

印刷
EX21
 TEL. 03-3887-7724

聖朋会員のみな様へ

本校入学の希望者がお近くにおられましたら、是非ご一報ください。

応援いたします。